



## お気に入りの本で交流！ 「県南地区みんなでビブリオスピーチワークショップ」

7月25日（土）大曲図書館を会場に、「県南地区みんなでビブリオスピーチワークショップ」を開催しました。これは、参加者がお気に入りのページにしおりをはさんだ好きな本を持ち寄って紹介し、参加者同士のコミュニケーションを通して、読書のきっかけづくりを図ることを目的としています。

当日は、1年生から5年生まで6名の小学生とその保護者が参加しました。本の紹介の時間には、自分が持ってきた本の魅力を一生懸命発表していました。あらすじやお気に入りのページ・挿絵、好きな登場人物など、一人一人の発表から本への強い思いが伝わってきました。紹介が終わると質問タイムが始まります。「その本はどこで出会ったのですか？」「どんな人におすすめですか？」などの質問が挙がり、さらに詳しく本について知ることができました。休憩時間には、持ち寄った本をお互い見せ合うなど、本を通じた交流がさらに深まりました。

後半は、県立農業科学館の方を講師に、参加の記念としてしおりを作りました。材料には5、6種類の押し花が準備され、親子で、思い思いのしおりを作っていました。このしおりで、これからどんな本を読むのか、とても楽しみです。



### 《今回紹介された本はコチラ!》

『リヒト!』 イノウエミホコ 作 文研出版

『おかしのずかん』 大森裕子 作 白泉社

『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん 作 こぐま社

『超チョウ図鑑』 tupera tupera 作 アリス館

『だいすき ぎゅっ ぎゅっ』 フィリス・ゲイシャイトー 文

ミム・グリーン 文 岩崎書店

『クローディアの秘密』 E.L. カニグズバーグ 作

松永 ふみ子 訳 岩波書店

### 《小学生の感想》

- ・自分の好きな本が紹介できて楽しかった。
- ・知らなかった本に出会えてよかった。紹介された本を読みたい。

### 《保護者の感想》

- ・年代によって選ぶ本が違い、色々な興味深い本があり、紹介を聞くと読みたいという気持ちになりました。

## 博物館探訪②「博物館浴を楽しみませんか!」

「地域の魅力と博物館の未来」がテーマのお話を伺う機会がありました。7月4日（土）、美郷町公民館をメイン会場（モニター会場2施設）に開催された「美郷カレッジ」です。講師は、千葉市美術館長で日本博物館協会会長も務める秋田市出身の山梨絵美子先生です。2022年に改正された博物館法にふれ、博物館が単なる展示場ではなく、「人と地域をケアする拠点となる」「文化資源を未来へとつなぐ装置となる」ことが求められるといった解説に、博物館に対する認識を新たにしました。また、先生ご自身の研究を振り返る場面では、同町ゆかりの美術評論家が登場し、豊かな自然が作品づくりには欠かせないといったお話に、参加者の関心は一層高まったようでした。

引き続き、地域の物語を共有し、地域と共に育つ博物館等施設を訪ね、「博物館浴」を楽しみたいと思います。